

令和 6年度 朝陽幼稚園 学校評価(自己評価)

朝陽幼稚園

1. 教育基本方針

「つよく ただしく のびのびと」をモットーに、保護者・職員が関わりを深め、園児が楽しい園生活を送る中で成長を促す。

2. 本年度の重点的目標

- ・心身ともに健康な生活を送り、基本的生活習慣を身につける
- ・一人ひとりの個性を大切にし、人間性豊かな想像力を育てる
- ・正しいことは勇気をもってやりぬく実行力を育てる
- ・思いやりをもって、だれとでもなかよく遊べるやさしさを育てる
- ・社会に貢献する人格の形成をめざす

3. 評価項目の達成及び今後の課題

※評価 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

E:わからない

評価項目	目標	評価	自己評価	次年度の改善
①「健康」	(1) 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 (2) 健康で安全な生活に必要な習慣や態度を身につける。	【A】	(1) 園庭での遊びや運動会、朝陽杯、各運動系大会等の行事に意欲的に参加して運動をして楽しんだ。また、課内体育指導でさまざまな種目の運動を経験し、できなかった技にも挑戦した。 (2) 換気をはじめ、消毒作業等、園児の健康に留意した環境を維持した。 交通安全教室・避難訓練等の取り組みで、日常の保育活動の中、危機管理を意識できた。	(1) 今年度の取り組みを継続して実施し、運動する楽しさを味わわせる。そのうえで、「練習」や「努力」、「仲間」の大切さを伝え、心身の成長を促す。 (2) 体を動かす、運動する経験から安全にも気をつけさせ、健康や安全に関する行事や保育環境を整える中で、健康で安全な生活を意識させる。

②「人間関係」	(1) 身近な人と親しみ、かかわりを深め、信頼感をもつ。 (2) 社会生活における望ましい習慣や態度を身につける。	【B】	(1) (2) お互いの名前を呼びあって一緒に仲良く遊んでいる。けんかしても教職員の話で仲直りして、人に優しく接している。困っている子がいれば、気にかけて優しく思いやる姿が見られる。	(1) (2) 周りの人に優しく接し、周りの人を大切にして、トラブルがあったときには、お互いの言い分をわかりあい、認め合うことから人間関係を構築する人格形成を今後養っていく。
③「環境」	(1) 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。 (2) 身近な事象にふれあう中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。	【B】	(1) (2) 砂場・土・植物・虫・おもちゃ・絵本・月刊誌等幼稚園にあるものに興味を持って活動している。また、季節行事では、隣接する朝陽館で五月人形、雛人形を鑑賞したり、節分では豆まきをしたり、伝統文化を伝え情操教育を行った。	(1) (2) 朝陽館での取り組みは、当園の特色ある取り組みとして継続して実施する。園にあるさまざまな環境に興味を持てるように、言葉かけを工夫し今後も指導していく。
④「言葉」	(1) 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 (2) 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。	【B】	(1) (2) 言葉の表現は個人差が大きい。日常の挨拶や会話を通して、自ら挨拶をしたり話をしたりできるように少しずつ過程を大切にしたい。概ね人の話を聞いて、上手に会話しているが、話を聞けなかったり相手の話を待てなかったりすることもある。	(1) 絵本・月刊誌等にふれることで言葉を豊かにするとともに、教職員も言葉遣いを意識し、正しい言葉を子どもたちにつたえていく。 (2) トラブルがあったときには、お互いの言い分をわかりあい、認め合うことから人の話を聞き、正しい言葉を獲得できるように指導する。

⑤「表現」	(1) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (2) 園生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	【A】	(1) (2) 季節感を大切にしながら、制作・音楽・読み聞かせ等の活動ができた。その活動の中で、道具の使い方や言葉遣い等を指導し、子どもたち同士をつなげることを意識して関わった。	(1) (2) 運動会、生活発表会など表現活動の内容を充実・深化させ、さらに表現による感性を養う教育を行う意識をもつ。
⑥「教職員の資質向上」	(1) 園児への望ましい関わり方で保育を行う。 (2) 教員として向上心を持ち、日々自己研鑽を積む。	【B】	(1) 教職員が常に笑顔で園児に向き合い、園児の困り感に寄り添って、保育している。 (2) 教職員同士で情報交換を密にし、全教職員が全園児を理解し、対応している。	(1) 引き続きコンプライアンス意識を強く持って子どもたちに関わり、笑顔を絶やさず子どもたちに向き合うことで安心感を与える保育を実施する。 (2) 保育日誌等による日々の保育の振り返りを行い、より良い保育につなげるとともに、自己課題に見合った研修に積極的に参加して自己研鑽を積む。
⑦「保護者との協働」	(1) 保護者の園の教育活動への理解を深め、協働して子どもを育てる。 (2) 保護者の保育に対する建設的なニーズに対応する。	【A】	(1) (2) 「園だより」、各種通信、お便り等を通じて、園の活動を伝え、保護者の意見も取り入れながら協力を依頼することで、日々の活動・園行事等に、理解・協力を得られた。また、毎日HPで多数の写真を掲載し、園内の活動を報告している。	(1) (2) 今後もより一層保護者の声に真摯に耳を傾け、園の様子や大切にしていること、困っていること等を情報発信することで、更に、園への理解・支援を強化したい。また、行事实施の際は、引き続き保護者の協力を得ながら協働して進める。

4. 総合的な評価結果

評価	自己評価	次年度の改善
【B】	さまざまな行事や日々の活動により子どもたちが成長できるように、準備・実施してきた。概ねそれぞれの活動で成果を収め、個々の成長を促すことができた。 日常の活動・行事を実施できたことは、とりわけ保護者の協力と地域の理解によることが大きい。 また、園ホームページを更に充実させ、保護者及び入園希望者にきめ細かな情報を伝えることができた。	今後も継続して子どもたちの成長のための行事等を含めた環境を整え、笑顔を絶やさず子どもたちに向き合い、安心感を与え、居場所を確保し、安全安心基地として充実した園生活を送らせることでより良い成長を促すことができる保育活動に努める。 また、園の情報発信を引き続き行い、保護者と活動を共有することで、共に子どもたちを育てていく。

5. 学校関係者評価

<自由記述欄>

- ・園庭は少し狭いですが、限られた環境の中で全ての先生方が創意工夫を凝らし、いつも園児のためを思っご尽力いただいています。愛情が感じられる素晴らしい幼稚園だと思います。
- ・身体を動かすことの楽しさや歌や絵本を用いての言葉や表現の習得、季節ごとの行事を通した学び等、園児たちは日々の生活の中でバランスよく学習することができたようです。ひとえに先生方のご尽力のおかげです。教職員の資質につき、高く評価すべきであると考えます。
- ・先生に会いたいから、お友達と遊びたいから、〇〇大会で良い結果を残したいからと、目的やモチベーションを持って通園する子どもの姿が見られた。
- ・一年間を通し、沢山の行事や活動をして下さって、子供達は心や身体も成長したと思います。楽しい場所、安全な場所と毎日楽しく通うことが出来たと思います。①「健康」に関して1つ感じた事なのですが、課内体育指導でクラスで1つ目標を持ち達成させる事も良いのかな？と思ったりしました。例えば、全員がさか上がりが出来るようになる等、一年を通し達成出来ると子供達の自信に繋がるかなと思いました。
- ・先生方の印象は、「いつも笑顔で、いつも絶対に先にあいさつをしてくれる」です。子どもたちにも寄りそって頂き、本当に感謝しています。保育内容は、「体育指導」と「英語指導」、「ALT」がありますが、英語は「ALT」だけでいいかなと…。週2回の英語よりも、ちがうジャンルの先生をお呼びしてちがうことをしてほしかったです…。園生活は楽しく3年間過ごしてくれました。ありがとうございました。最後に月1回のお弁当…大変でした(笑)
- ・⑦「保護者との協働」について
毎日、写真をHPに掲載してくれていて、とても楽しみにしていますが、動画はイベントスタンプなど、特別な時しか無いのがとても残念です。日常の何気ない動画が見たいと3年間思っていました。定点カメラでも良いので、見れたら良いなと思います。

【学校関係者評価委員会構成】

評価委員長:朝陽幼稚園保護者会会長

評価委員 :保護者会役員 5 名

以 上